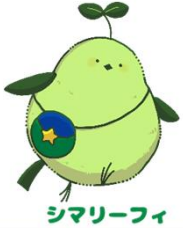


農家のみなさまへ

# みどり認定

## 受けませんか？

グループ申請も  
増えています！



農林水産省は『環境にやさしい農業』に取り組む生産者を応援します！

### ？ 認定を受けたらいいことあるの？



土づくりをしたいから堆肥をまく機械がほしいなあ…



子供たちのために環境にやさしい農業を続けたい！



取組を消費者にアピールしたいなあ…



主に3つの支援が受けることが可能！

- ①農林水産省の補助事業の採択で優遇
- ②設備投資時の所得税・法人税の優遇
- ③日本政策金融公庫の無利子融資等



①優遇対象事業の一覧



②みどり投資促進税制概要



③税制対象機械の一覧



④無利子融資等の概要掲載(4ページ目)

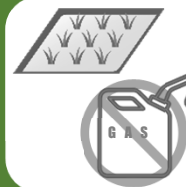
そのほか、消費者などに環境にやさしい農業に取り組んでいることをアピールできます！

### ？ 認定の対象となる『環境にやさしい取組』とは？

土づくり  
+  
化学肥料・  
化学農薬の  
低減



温室効果  
ガスの削減



・中干し期間の延長  
・ヒートポンプを利用した  
燃油使用量の削減  
など

その他



バイオ炭の農地施用



生分解性マルチの使用

プラスチック資材の排出又は流出の抑制



ペースト肥料の活用

など

### ？ 新たな『環境直接支払交付金』との関係は？

新たな環境直接支払交付金は、令和9年度を目標に、「みどり認定」を要件とした仕組みへの移行を予定していますので、みどり認定の取得を！

# ? どんな担い手が「みどり認定」を受けているの？

- ①品目
- ②環境にやさしい取組
- ③認定を受けたきっかけ



## 佐竹 直人氏（名寄市）



- ①水稲
- ②稲刈り後の秋に稲わらを土壌の中にすき込む秋耕を行うことで、温室効果ガスの排出量の削減に資する取組を行っています。
- ③持続可能な農業を目指しています。また、融資制度や補助事業のポイント加算があることを知り、認定を受けました。

## 福尾 拓（新篠津村）



- ①大根、人参
- ②生産物の茎葉のすき込みによる土づくりを行い、有機農業(有機JAS)に取り組みます。また、取組面積拡大のため、農業改良資金を活用し、大根引き抜き機や人参収穫機を導入します。
- ③日本政策金融公庫の無利子融資等の貸付があること知り、認定を受けました！

## 帰山農園（知内町）



- ①水稲
- ②慣行栽培比で5割以上の化学肥料・化学農薬の使用低減に取り組むほか、稲刈り後の秋に稲わらを土壌の中にすき込む秋耕にも取り組んでいます。また、中干し期間の延長を行うことで温室効果ガスの削減にも取り組んでいます。
- ③補助事業の優先採択があること知り、認定を受けました！

## 【グループ認定】 JAにいかっぴピーマン 生産部会（新冠町）



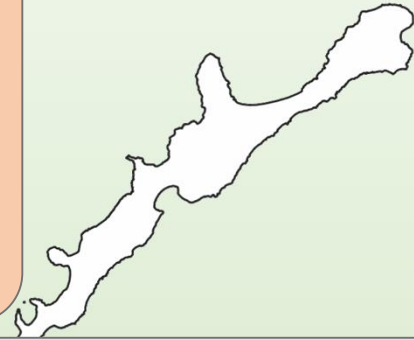
- ①ピーマン
- ②ピーマン生産部会に所属する50経営体で、馬ふん堆肥の活用や天然物質由来の農薬への切替を図り、化学肥料・化学農薬の使用低減に取り組んでいます。
- ③エコファーマー制度に代わるものとして認定を受けました。また、消費者への訴求に繋がることに期待しています！



## 【グループ認定】 JA新すながわ 特別栽培米生産組合



- ① 水稻
- ② 特別栽培米生産組合に所属する61経営体が、米部門で道内初めてとなるグループ認定を受けました。慣行栽培比で5割以上の化学肥料・化学農薬の使用低減に取り組むほか、稲刈り後の秋に稲わらを土壌に中にすき込む秋耕にも取り組んでいます。
- ③ 地域の付加価値の向上を目的として受けました。消費者のみならず、新規就農を考えている方や環境に関心が高い若い方からも選ばれる産地になることを期待しています！



## (株)E.H.F (津別町) ※津別町有機酪農研究会



- ① デントコーン、牧草
- ② 有機農業(有機飼料・有機畜産)に取り組んでおり、堆肥による土づくり、デントコーンの機械除草等を行いながら環境負荷低減の取組を行っています。生産した生乳は乳業メーカーから「オーガニック牛乳」として販売されています。
- ③ 補助事業の要件になっていることを知り、認定を受けました。

## (株)おひさまファーム (別海町)



- ① 放牧地
- ② 草地管理では、全経営面積で有機農業に取り組んでおり、また、グラスフェッドでの飼育に取り組むなど、循環型放牧酪農を実践して環境負荷低減の取組を行っています。
- ③ 自身の経営方針とみどり認定の趣旨が合致しているため、認定を受けました。

## (株)とかち河田ファーム (音更町)



- ① 人参、馬鈴薯、キヌア、大豆、小麦、小豆
- ② 人参、馬鈴薯において慣行栽培比で5割以上の化学肥料・化学農薬の使用低減に取り組むほか、キヌア、大豆、小麦、小豆において有機質肥料及び堆肥の施用による土づくりを行い、有機農業に取り組んでいます。
- ③ 補助事業の加算ポイントがあること知り、認定を受けました！

## (株)Jリード (豊頃町)



- ① 牧草、デントコーン
- ② バイオガスプラントから発生する家畜ふん尿由来の液肥消化液をほ場に散布することによって、化学肥料及び化学農薬の使用量の低減に取り組みます。
- ③ 補助事業の加算ポイントがあること知り、認定を受けました！

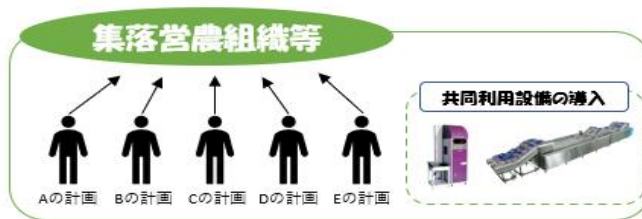
# ? グループ申請とはどんなこと?

- 農協の生産部会など、同じ品目や取組を行う生産者がまとまって1つの計画を作成・申請し、グループ(団体)として認定を受けることができます。
- グループ申請の場合も、計画に含まれる構成員は税制等の特例を活用することができます。

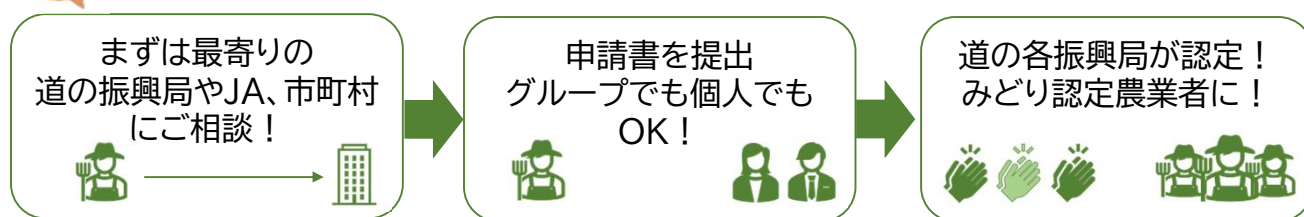
## グループ申請のイメージ

栽培暦など共通の栽培方法に基づき  
環境負荷低減を実践している農協の生産部会

共同利用設備を活用しながら、構成員のそれぞれが  
環境負荷低減に取り組む集落営農組織



# ? 認定を受けるにはどうしたらいいの?



詳しくはこちら↓  
(道庁HP)



## 【農業者向け認定フロー図】

